

## 第6学年 国語科学習指導案

日 時	平成20年10月15日(水)	
学 級	6年1組 33名	6年2組 33名
授業者	赤瀬 光雄	今野 優

### 1 単元名「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」

教材名「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」(光村図書6年下)

「義足の聖火ランナー」(東京書籍 道徳 6年)

### 2 単元について

#### (1) 児童について

児童はこれまで「平和」について考えるという点では、三年「ちいちゃんのかげおくり」、四年「一つの花」などを学習している。また、社会科の学習を通して、広島・長崎に原子爆弾が投下され、戦争で人々が受けた被害の大きさや戦争当時のようすについて学習している。生命尊重という点では、六年「森へ」「みんなで生きる町」「やまなし」「海の命」などとも関連する。

6年1学期には、「生き物はつながりの中に」で、「問題提起」「問題の解明」「まとめ・主張」という構成を学び、筆者が読者に考えてもらいたいと思っていることをまとめ、それについて自分の考えを書く学習をしている。しかし、筆者の考えを的確に読み取ったり、それについて意見をもったりすることが不十分である児童も多い。そこで、本教材では原爆ドームがたどった歴史と世界遺産へ登録されるまでの道のりを丁寧に読み取ることで、筆者の考えを的確に読みとり、自分なりの意見をもってまとめることができるような児童を育てていきたい。

また、事実と意見を区別しながら書かれている文章なので、筆者が読者に伝えたいことや訴えたいことを的確にとらえ、自分の考えをまとめる。そこから、「平和」について読んだり、話し合ったりして、自分の意見に説得力をもって発信していきたい。

#### (2) 教材について

学習指導要領の第5・6学年における読むことの目標は「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。本単元に関わって、読むことの重点は「イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。」である。

本教材「平和のとりでを築く」は、原子爆弾によって「傷だらけ」となった物産陳列館が、多くの平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。日本人としてぜひ知っておきたい史実と、それが「世界」の「遺産」となった意味についての筆者の考えを丁寧に読み取っておきたい。それによって、いかに多くの人々が、現在において「平和」を希求しているかが分かる教材である。また、事実と筆者の考えを分けて表現されているので、筆者の考えを受け止めるには適した教材である。

学習を通して身に付いた力を確かめ、さらに定着させるための時間では、対人地雷の撤去活動中に右手右足を失いながら、長野オリンピックで聖火ランナー最終区間を務めたクリス・ムーンさんについての話「義足の聖火ランナー」を教材として用いる。戦争の爪あとにより現在も苦しんでいる人々がいるという事例であり、「平和」を考えるには格好の教材である。また、事実と筆者の主張が分かりやすく書かれており、児童にとって読みやすく、自分の意見をもちやすい教材である。

「平和のとりでを築く」で学んだ要旨のとらえ方を、「義足の聖火ランナー」の要旨をまとめる際

に活かし、筆者の願いをまとめ自分の考えを広め文章にする。

### (3) 指導について

本単元の指導にあたっては、各段階において以下の点に留意していきたい。

「とらえる」段階においては、教材文をすらすら読めるようにし、初発の感想をもとに大きなまとまりに分けたり、学習課題を設定したりする。計画的に新出漢字や語句の学習に取り組みせることで、読み取りの基礎となる力をつけさせたい。

「ふかめる」段階においては、筆者はこの文章で何を伝えたかったかという課題を共通認識させる。中心語句に注意しながら、説明やまとめをとらえさせ、段落の要点をつかんだり、小見出しをつけたりすることで内容の理解を図る。筆者の考えをつかんだ上で、要旨をまとめたりする。そこから、自分の考えをもち、発表する。

「ひろめる」段階では、筆者の伝えたいことをもとに、戦争や平和について考え、話し合いをもとにして、自分の考えを発信する。発信する方法や内容を吟味し、発信するに値する内容を選択することによって、生きた学習とする。学校の図書館だけでなく、胆沢図書館、インターネットなど、情報収集の幅を広げ、さらに発信の手段としてコンピューターの活用も考えられる。

## 3 単元の目標

### (1) 主目標

◎筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分なりの考えをもち。

- ・「平和」についてさらに考えるために調べたり話し合ったりし、深まった考えを分かりやすく組み立てて書いて交流する。

### (2) 観点別目標

#### ・国語への関心・意欲・態度

◎ 筆者の考えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり話し合ったり、書いたりしようとしている。

#### ・書く能力

◎ 「仮の要旨」から「確定した要旨」への過程で必要な材料を選び直すことができる。(イ)

◎ 自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考えることができる。(ウ)

#### ・読む能力

◎ 「平和のとりでを築く」という題名が意味することに注意しながら読むことができる。(イ)

◎ 筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかをまとめることができる。(エ)

### (3) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力
・筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。	・自分の考えを明確に表現するため、材料を選び直したり、効果的な文章の組み立てを考えたりしている。	・筆者の考えをまとめ、自分はどうのように考えるかを明確にしながらか読んでいる。

4 指導計画（全16時間）及び観点別評価規準

次	時	目標	学習活動	身につけさせたい力	読みのスキル	評価規準
一 と ら え る	1	具体的な事例と筆者の考えをとらえ筆者が伝えたいことを読み取って、感想をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元名、リード文、題かから、学習の構えをもつ。</li> <li>・ 「平和のとりでを築く」で、筆者は何を伝えたいのだろうかという課題を共通認識し、全文を読む。</li> <li>・ 「義足の聖火ランナー」も並行して読むことを知らせる。</li> <li>・ 学習の後半で「平和について自分の考えを発信することを確認する。</li> <li>・ 初発の感想を書く。</li> </ul>	感想をもつ力 正しく読む力	題名の意味	<p>【関】筆者の訴えについて自分なりの考えをもとうとしている。</p> <p>【読】筆者の考えと事例をとらえ、写真への感想を語り、自分の意見や感想をもっている。（ノート・発言）</p>
	2	学習計画を立て、学習の見通しをもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 序論・本論・結論に分け、小見出しをつける。</li> <li>・ 形式段落①と初発の感想をもとに学習計画をたてる。</li> <li>・ 新出漢字の読みと書きをする。</li> <li>・ 意味調べをする。</li> </ul>	文章構成を大まかにとらえる力	形式段落 意味段落 段落相互 の関係 小見出し	【読】文章構成をつかみ、小見出しをつけることで事実と意見の関係をおさえる。（ノート・発言）
二 ふ か め る	3	形式段落①～⑤を読み、筆者の伝えたいことを読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形式段落②～⑤を読み原爆ドームのたどった歴史を読み取る。</li> <li>・ 形式段落②～⑤の要点をまとめる。</li> <li>・ 意味段落の要点をまとめる。</li> </ul>	文章の内容を的確にさえながら読む力	中心語句 問い 要点	【読】具体的事例について事実や時間の流れを押さえ、正確に読み取っている。（学習シート・発言）
	4 二 組 本 時	形式段落⑥～⑧を読み、筆者の伝えたいことを読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形式段落⑥～⑧を読み、原爆ドームが永久保存される過程を読み取る。</li> <li>・ 形式段落⑥～⑧の内容を要点をまとめる。</li> <li>・ 意味段落の要点をまとめる。</li> </ul>	文章の内容を的確に押さえながら読む力	中心語句 要点	【読】具体的事例について事実や時間の流れを押さえ、正確に読み取っている。（学習シート・発言）

5	形式段落⑨～⑪を読み、筆者の伝えたいことを読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>形式段落⑨～⑪を読み取り、原爆ドームが世界遺産となったのはなぜかを読み取る。</li> <li>形式段落⑨～⑪の要点をまとめる。</li> <li>意味段落の要点をまとめる。</li> </ul>	文章の内容を的確に押さえながら読む力	中心語句 要点	【読】具体的事例について事実や時間の流れを押さえ、正確に読み取っている。(学習シート・発言)
6	形式段落⑫⑬を読み、筆者の伝えたいことを読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>形式段落⑫⑬を読み取る。</li> <li>形式段落⑫⑬の要点をまとめる。</li> </ul>	文章の内容を的確に押さえながら読む力	中心語句 要点	【読】筆者の「平和」に対する考えを読み取っている。(学習シート・発言)
7	「平和のとりでを築く」の要旨をとらえ、自分の考えをもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体を振り返り、話題提示・説明・まとめの構成をつかむ。筆者の伝えたいことを読み確かめ、自分の感じたこと・考えたことをまとめる。</li> </ul>	文章の内容を的確に押さえながら読む力 自分の考えを明確にしながら読む力	文章構成 要旨	【読】まとめの段落に着目し、叙述を丁寧に読み取りながら、根拠を明らかにして、筆者の伝えたいことについて書きまとめている。(学習シート・発言)
8	副教材「義足の聖火ランナー」を読み、文章の構成をとらえ、意味段落に小見出しをつける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体を読み取る。形式段落に小見出しをつける。</li> </ul>	文章構成を大まかにとらえる力	意味段落 段落相互 の関係 小見出し	【読】具体的事例について事実や時間の流れを押さえ、正確に読み取っている。(学習シート・発言)
9 一 組 本 時	副教材「義足の聖火ランナー」を読み、筆者の願いを読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体を振り返り、話題提示・説明・まとめの構成をつかむ。筆者の願いが書いてある段落を読みとる。</li> </ul>	文章の内容を的確に押さえながら読む力	文章構成 要点 中心文 要旨	【読】まとめの段落に着目し、叙述を丁寧に読み取りながら、根拠を明らかにして、筆者の伝えたいことについて書きまとめている。(学習シート・発言)

三 ひろ げ る	10	自分の考えを発信するために、計画を立て、見直しをもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の伝えたいことをもとに、平和について考え、話し合う。</li> <li>・発信する目的と相手、課題、方法を決める。調べることを具体化する。</li> </ul>	目的に応じて自分の考えを効果的に整理する力		【関】「平和のとりでを築く」の内容を意識しながら、「平和」について読んだり、話し合ったり、書いたりしよとしている。
	11 ・ 12	自分の意見に説得力をもたせる工夫をし、文章の構成を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の時点で考えていることを「仮の要旨」としてまとめ、それに説得力をもたせる材料を集める。</li> </ul>	目的に応じて自分の考えを効果的に整理する力。	要旨 事実と感想・意見	【書】自分の要旨に説得力をもたせるために必要な材料を集めている。
	13	自分の意見に説得力をもたせる工夫をし、文章の構成を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた材料をもとに、「仮の要旨」を「確定した要旨」にまとめ直す。</li> </ul>	目的に応じて自分の考えを効果的に整理する力。	要旨 事実と感想・意見	【書】集めた材料の中から必要なものを選択し、自分の意見が伝わるように組み立てを考えている。
	14 ・ 15	「平和」について自分の考えを発信するために、多様な材料を通して自分の考えを組み立て、文章を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを書きまとめる。</li> <li>・書きまとめたものを推敲する。</li> <li>・推敲したものを発信する。</li> </ul>	自分の考えを明確にするために文章全体の組み立てを効果を考える力	要旨 考えを明確にする	【書】具体的事例と意見、反対意見とそれに対する反論などを、読み手に分かるように書き分けている。
	16	自分の取り組みを振り返ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この単元での学習を振り返る。</li> </ul>	表現の効果などについて確かめる力		【関】自分の学習に対して達成感、満足感を感じたり、学習した意味を見いだしたりしている。

5 本時の指導（6年2組 4／16 授業者 今野 優）

（1）目標

- ・形式段落⑥～⑧を読み、筆者の伝えたいことを読み取ることができる。

（2）具体の評価規準と手立て

A：十分満足	B：おおむね満足	努力を要する児童への支援
3つの形式段落の要点をとらえ要約し筆者の伝えたいことを読み取ることができる。	3つの形式段落の要点をとらえ要約することができる。	学習シートに要点をまとめ要約できるように支援する。

具体例

要約文

戦後間もないころ、広島では原爆ドームの保存賛成反対の議論が続いた。しかし、1960年の少女の日記をきっかけに、市民も役所も永久保存に立ち上がった。その後、補強工事が何度か繰り返され、今の形を保っている。

感想

原爆ドームが永久保存されるきっかけとなったのは、一少女の日記だったことを、筆者は伝えなかったのだろう。

（3）指導にあたって

児童は、前時までには原爆ドームに対する筆者の思い、原爆ドームがたどった歴史について中心語句を用いて要点をまとめ、そこから自分の感じたこと・考えたことをまとめてきている。本時は引き続き、原爆ドームが永久保存される過程を読み取る。そこで、次の点に留意して指導にあたる。

- ・集団解決をはじめに行うことで、学習方法を想起させ自力解決につなげていく。
- ・要点をまとめ要約する際に児童が考えやすいように、学習シートを工夫する。
- ・筆者の伝えたいことを読み取り、自分の感じたことや考えたことを感想としてまとめさせる。

（4）展開

段階	学習活動	教師の支援・指導上の留意点	備考（◎評価規準・準備）
とらえる5	1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を確かめる。 原爆ドームが永久保存される過程を読み取ろう。	・筆者の伝えたいことについて、叙述に沿って根拠を明らかにして考える。 ・「歴史」（時間が分かる言葉）を手がかりに出来事をまとめてい	・紙板書

分		くことを確かめる。	
ふ か め る	<p>3 学習の見通しをもつ。</p> <p>(1) 学習の流れを知る。</p> <p>①学習範囲・使う読みのスキル・学習方法を確かめる。</p> <p>(2) 学習場面を音読する。</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>4 学習課題の解決を図る。</p> <p>(1) 集団解決する。</p> <p>○ 形式段落⑥を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心語句を検討する。</li> <li>・ 要点をまとめる。</li> </ul> <p>(2) 自力解決する。</p> <p>○ 形式段落⑦を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書かれている事例を読み取る。</li> <li>・ 中心語句を検討する。</li> <li>・ 要点をまとめる。</li> </ul> <p>○ 形式段落⑧を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書かれている事例を読み取る。</li> <li>・ 中心語句を検討する。</li> <li>・ 要点をまとめる。</li> </ul> <p>(3) 確かめる。</p> <p>5 学習課題についてまとめる。</p> <p>(1) 書きまとめる。</p> <p>(2) 発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形式段落⑥～⑧が学習範囲であること。</li> <li>・ 「むごたらしいありさま」というのはどんな様子だったのかをとらえさせる。</li> <li>・ 「一刻も早く」とはどんな心理状態なのかをつかませる。</li> <li>・ 市民の意見が原爆ドーム保存へと「固まった」「きっかけ」は何だったのかを押さえる。</li> <li>・ 日記の文面を詳しく読み取らせることで、人々を動かすこととなったわけをとらえさせる。</li> <li>・ 「何よりも」「急がれた」その背景は何か、その反響はどのようなものだったのかをつかませる。</li> <li>・ 学習シートに書き込ませる。</li> <li>・ 要約文は、3文で書くことと、接続語を入れることを確認する。</li> <li>・ 友達の考えについて感想をもつことで、自分の読みを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙板書</li> <li>・ 読みのスキル</li> <li>中心語句</li> <li>要点</li> <li>要約</li> <li>・ 学習シート</li> <li>・ 紙板書</li> <li>・ 学習シート</li> <li>◎要点をまとめている。(学習シート)</li> <li>◎要約している。(学習シート)</li> </ul>
35			

分			
ひろげ	6 本時のまとめをする。 (1) 本時の学習をふり返る。 (2) 自己評価をし、感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書をもとに学習を振り返る。</li> <li>・筆者の伝えたいことが分かったか。</li> <li>・自分の考えをもつことができたか。</li> <li>・進んで発表できたか。</li> </ul>	
5分	7 次時の学習を確かめる。		

(5) 板書計画

<p>⑥段落 戦後間もないころ 要点</p> <p>原爆ドームが永久保存される過程を読み取ろう。</p>	<p>⑦段落 一九六〇年 要点</p> <p>一少女の日記に(後おし)され、「」に立ち上がる。</p>	<p>⑧段落 その後 要点</p> <p>(補強工事) がくり返され、今の形を保っている。</p>	<p>要約文</p> <p>戦後間もないころ、広島では原爆ドームの保存賛成反対の議論が続いた。しかし、一九六〇年の少女の日記をきっかけに 市民も役所も永久保存に立ち上がった。その後、補強工事が何度かくり返され、今の形を保っている。</p>
--	---	---	---

平和のとりでを築く

原爆ドームが永久保存される過程を読み取ろう。

⑥段落 戦後間もないころ  
要点

(原爆ドーム)を保存するか取りこわすか(議論)が続く。

⑦段落 一九六〇年  
要点

一少女の日記に(後おし)され、「」に立ち上がる。

⑧段落 その後

要点

(補強工事) がくり返され、今の形を保っている。

要約文

戦後間もないころ、広島では原爆ドームの保存賛成反対の議論が続いた。しかし、一九六〇年の少女の日記をきっかけに 市民も役所も永久保存に立ち上がった。その後、補強工事が何度かくり返され、今の形を保っている。



6 本時の指導（6年1組 9/16 授業者 赤瀬 光雄）

(1) 目標

- ・「義足の聖火ランナー」を読み取り、筆者の願いを読み取ることができる。

(2) 具体の評価規準と手立て

A：十分満足	B：おおむね満足	努力を要する児童への支援
筆者の願いを理解し、自分の言葉に的確に置き換えながら、100字程度でまとめている。	筆者の願いを理解し、まとめている。	⑬段落の内容を振り返り、筆者の言いたいことを読み取らせる。

具体例

今、世界のどこかで、地雷の犠牲になって、命がうばわれ、手や足がもがれてしまう子どもがいる。だから、筆者はすべての子どもが戦争のない平和な世の中で生きていける日が来ることを願っている。

(3) 指導にあたって

児童は、前時までに意味段落の小見出しをつけてきている。また、文章の構成をとらえているので、要旨をとらえることでさらに理解を深めることができる。本時は、要旨をとらえるために次の点に留意して指導にあたる。

- ・ 要旨をとらえるために文章構成をとらえ、「筆者の願い」が書いている段落に着目し、要点をまとめる。その際、中心文を見つけ、内容を理解するために自分の言葉で書き込みをする。
- ・ 要旨をとらえる際に児童が考えやすいように、学習シートを工夫し、100字程度にまとめる。

(4) 展開

段階	学習活動	教師の支援（●支援を要する児童への手立て）	備考（◎評価規準・準備）
つかむ 5	1 前時の学習を想起する。  2 学習課題を確認。  「筆者の願い」を読み取ろう。	・ 序論・本論・結論になっていることを確認し、筆者の主張が結論にあることを確認する。	・ 紙板書
ふかめる	3 学習の見通しをもつ。 学習の流れを知る。 ⑫⑬段落を音読する→⑫⑬段落のそれぞれの中心文を見つける。→中心文の内容理解をする。→中心文をまとめる  4 筆者の願いをまとめる。 (1) ⑫段落を読み深める。 ・ 中心文を見つけ、そこからわか	・ 段落⑫と⑬に「筆者の願い」が書いてあることを確認する。 ・ 「筆者の願い」が書かれている部分の要点をまとめることを確認する。  ・ クリスさんの願いを確認する。 ・ ⑫は「筆者」が調べたことが書いてあることを確認する。	・ 紙板書 ・ 読みのスキル ・ 文章構成図  ・ 学習シート

35分	<p>ることを書き込む。</p> <p>(2) ⑬段落を読み深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考えに対して書き込みをする。</li> </ul> <p>○「おやつを食べ、テレビを見ている間に」とはどういうことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で生活しているとき</li> <li>・今、授業を受けているとき</li> </ul> <p>○「大地の上を元気に走り回って遊べる日」とはどういう日のことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地雷がない日</li> <li>・戦争がない平和な日</li> </ul> <p>5 学習課題についてまとめる。</p> <p>(1) 筆者の伝えたいことを100字程度にまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「筆者の平和に対する願い」を100字でまとめましょう。</p> </div> <p>(2) 発表する。</p> <p>(3) 今日の授業から平和についての感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心文は筆者が調べたことになることを説明する。</li> <li>・⑬は「筆者」の願いが書かれていることを確認する。</li> <li>・どんなことかを確認するため書き込みをする</li> <li>・どんな日かを確認するために書き込みをする</li> <li>・⑫⑬段落で読み深めたことをまとめる。</li> <li>・まとめる文章を「今」で始めることを確認する。</li> <li>・学習したことを使い、文末を「願っている」にする。</li> <li>・一文は事実、二文目は願いを書くことを知らせる。</li> <li>・発表を聞きながら、二文になっているか、大事な言葉「平和」「地雷」を落とさずに的確にまとめているかを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習シート</li> </ul> <p>◎まとめの段落に着目し、叙述を丁寧に読み取りながら、根拠を明らかにして、筆者の伝えたいことについて書きまとめているか。 (学習シート)</p>
まとめる 5分	<p>6 (1) 本時のまとめをする。</p> <p>(2) 自己評価・相互評価をする。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書をもとに学習を振り返る。</li> <li>・自分の考えを発信するための文章を書いていくことを確認する。</li> </ul>	

(5) 板書計画

義足の聖火ランナー

「筆者の願い」を読み取ろう。

⑫ クリスさんの思いを知ったわたしは、さらにインターネットで地雷について調べました。世界に一億二千万個もあるといわれる地雷は、一個百円から千円なのに、一個取りのぞくには十万円もかかること。二十分に一人のわりあい、今も世界のどこかで、だれかが地雷の犠牲になっていること。一つ一つがわたしにとっておどろきでした。

⑬ わたしがおやつを食べ、テレビを見ている間に、命をうばわれ、手や足をもがれてしまう子が同じ世界にいるなんていやです。地球に地雷なんていません。地雷なんて一日も早くなくなつてほしいです。そして、すべての子どもたちがきれいな花に囲まれて、大地の上を元気に走り回つて遊べる日が来たらいいなあと思います。  
《筆者が伝えたいこと》

今、世界のどこかで、地雷の犠牲になつて、命がうばわれ、手や足がもがれてしまう子どもがいる。だから、すべての子どもが戦争のない平和な世の中で生きていける日が来ることを願っている。

〈自己評価〉

- ① 筆者の平和に対する願いが理解できたか。
- ② 自分の考えをもつことができたか。
- ③ 進んで手を挙げか。
- ④ がんばっていた友達（わけ）

原爆ドームは、後世まで、それを見る世界中の人々の心に、核兵器の使用禁止、さらには戦争を許さず、平和を守っていく強い意志を築くための世界遺産なのだ。													要旨
まとめ		本論Ⅱ			本論Ⅰ							序論	意味段落
筆者の伝えたいこと		世界遺産への道のり			原爆ドームがたどった歴史							原爆ドームに対する筆者の思い	
⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	賦
え 筆者の考	え 筆者の考	事例	説明	事実	事例	事例	事実	事実	事実	事実	事実	い 筆者の思	段落の役割
原爆ドーム 平和のとりで 世界の遺産	原爆ドーム 惨害、核兵器 記念碑	決定	文化遺産 自然遺産	世界遺産	補強工事	一少女の日記 原爆ドーム永 久保存	保存 とりこわす 議論	全焼 一部は残る	一九四五年 原爆投下	親しまれて	物産陳列館	原爆ドーム 世界遺産	中心語句
原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産である。	原爆ドームは核兵器が不必要だと警告する記念碑である。	決定の知らせが届いたとき、平和を求める気持ちを感じた。	世界遺産は、文化遺産と自然遺産を守っていく制度である。	原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まる。	補強工事がくり返され、今の形を保っている。	一少女の日記に後押しされ、「原爆ドーム永久保存」に立ち上がる。	原爆ドームを保存するか取り壊すか議論が続く。	建物は全焼したが、レンガと鉄骨の一部は残る。	一九四五年、広島市に原子爆弾が投下された。	多くの市民に親しまれていた。	物産陳列館が完成した。	原爆ドームが世界遺産への仲間入りを果たしたとき、わたしは、原爆ドームがたどった年月を思わずにはいられなかった。	要点
なのだ。	告げている いや、むしろ	感じたのだっ た。		たちまち		くれるだろうー	むごたらしい 一刻も早く				ひとときわ	思わずにはい られなかつ た。	表現の特色

今、世界のどこかで、地雷の犠牲になって、命がうばわれ、手や足がもがれてしまう子どもがいる。だから、筆者はすべての子どもが戦争のない平和な世の中で生きていける日が来ることを願っている。													要旨
まとめ		本論Ⅱ					本論Ⅰ			序論			意味段落
筆者の伝えたいこと		クリスさんが聖火最終ランナーとして走るようになった経緯					クリスさんが右の手足を失った経緯			テレビを見てクリスさんを知り、どのような活動をしている人なのかがわかった。			
⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	賦
え 筆者の考	え 筆者の考	事実	事実	事実	事実	事実	事実	説明	事実	事実	事実	導入	段落の役割
	地雷	平和 聖火最終ランナー	いろいろな国	費用、集める	被害、支援、チャリティーマラソン	義足 マラソン チャレンジ	自分自身、右の手足	地雷 兵器	地雷、モザンピック	どのような活動	クリス	長野オリンピック、わたし、ランナー、右足	中心語句
地球に地雷はいらないので、一日も早くなくなつてほしい。	今も世界のどこかで、だれかが地雷の犠牲になっている。	世界が平和になるようにという思いをむねに、聖火最終ランナーとして走るようになった。	いろいろな国でチャリティーマラソンを走つた。	マラソンを走ること、地雷をとりのぞくための費用を集めることができると喜んだ。	地雷の被害にあった人々を支援するためのチャリティーマラソンとして行われることになった。	障害を乗り越え、義足をつけてロンドンマラソンにチャレンジしようと心に決めた。	地雷を取り除く活動をしているときに、地雷をふんで右の手足を失ってしまった。	地雷とは、地面にうめられて、何かが通ると爆発する兵器。	モザンピックで地雷を取り除く活動をして事故にあった。	クリスさんがどのような活動をしている人なのかがわかった。	わたしがはじめてクリスさんのことを知った。	長野オリンピックのテレビを見ていたわたしは、子どもたちに囲まれたランナーの右足にくぎづけになった。	要点